

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 7 年 1 月 31 日(2025.1.31)

【公開番号】特開 2025-1483(P2025-1483A)
【公開日】令和 7 年 1 月 8 日(2025.1.8)
【年通号数】公開公報(特許)2025-003
【出願番号】特願 2023-101102(P2023-101102)
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和 7 年 1 月 23 日(2025.1.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技者による操作が可能な操作手段と、
演出を実行する演出実行手段と、
前記演出実行手段を制御する演出制御手段と、を備え、
前記演出実行手段には、所定の発光が可能な発光手段を少なくとも含み、
前記演出には、特定点滅の発光を含む特定演出と、前記特定演出が実行されることを示唆する又は報知する事前演出と、があり、

前記事前演出の開始後、前記操作手段が操作されることに基づいて、前記特定演出における前記特定点滅の発光強度が基準設定よりも低い、又は前記特定演出において前記特定点滅の発光をさせない特定設定に設定可能であり、

30

前記事前演出は、少なくとも変動ゲームが実行されている変動状態において実行され、前記事前演出の非実行中、前記変動ゲームが実行されていない待機状態において、前記操作手段が操作されることに基づいて、前記特定設定に設定可能である遊技機。

【請求項 2】

前記特定演出は、特典が付与されるときに実行可能な演出であり、
前記演出には、前記変動ゲームが実行されていない状況で制御される特殊状態において実行可能であって、かつ、特殊点滅の発光を含む特殊演出があり、

前記特殊演出における前記特殊点滅の発光は、前記特定設定が設定されているときにも制限されない請求項 1 に記載の遊技機。

40

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

上記課題を解決する遊技機は、遊技者による操作が可能な操作手段と、演出を実行する演出実行手段と、前記演出実行手段を制御する演出制御手段と、を備え、前記演出実行手段には、所定の発光が可能な発光手段を少なくとも含み、前記演出には、特定点滅の発光

50

を含む特定演出と、前記特定演出が実行されることを示唆する又は報知する事前演出と、があり、前記事前演出の開始後、前記操作手段が操作されることに基づいて、前記特定演出における前記特定点滅の発光強度が基準設定よりも低い、又は前記特定演出において前記特定点滅の発光をさせない特定設定に設定可能であり、前記事前演出は、少なくとも変動ゲームが実行されている変動状態において実行され、前記事前演出の非実行中、前記変動ゲームが実行されていない待機状態において、前記操作手段が操作されることに基づいて、前記特定設定に設定可能であることを要旨とする。

10

20

30

40

50